



シャロームだより



梅雨になると、ジメジメ蒸し暑い日が続きます。雨が降り続けると、外に行けず子どもも大人もイライラすることがあると思います。広告や新聞紙を思いっきり破いてみたり、破いた紙をビニール袋に入れてボールを作ったりと、室内でも体を動かして遊んでみることもできます。外で水遊びができない時は、お風呂場で水遊びをやるのも楽しいと思います。また、少しの雨ならカッパを着て長靴をはいていつもと違うお散歩なども楽しめるかもしれません。今しかできない遊びを見つけてみてください！

シャロームでは、6月15日～水遊びがはじまります。お座りができる子～遊べます！

1歳を過ぎると始まる「イヤ！」の連発。その上、2歳ごろから自分の思い通りにならないと泣きわめき「もう、いいかげんにして！！」と言いたいママパパは多いはず。……これってどうすればいいんでしょう？

子どもが納得しやすい言葉の例

1歳半から3歳頃の子どもの「〇〇しなさい！」という命令口調が大の苦手。子どもの思いを大切にしながら自分の思いも伝えましょう。

気持ちに共感する
〇〇したかったのね



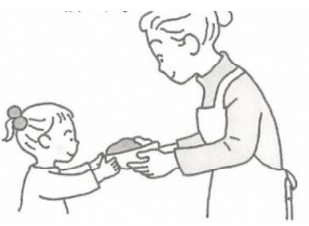
思いを伝える
お母さんは〇〇がしたいの



物の気持ちを伝える
クマさんは〇〇だって



尊重する
〇〇をお願いね



選ばせる
〇と〇どっちにする？



理由を伝える
〇〇だから〇〇しようね



いっぱい歩くと、お父さんみたいに足が大きくなるよ。

だっこ〜。

見通しをもたせる
〇〇したら〇〇しようね



スカートさん、まっ黒けて気持ち悪いって。きれいにしてあげよう。

これがいい〜。

どんな子だって1歳～3歳ごろは強情っぱりで当たり前。歩く前にはハイハイや尻もちをするように、強情、イヤイヤは子どもが自分をつくるためにどうしても通らなくてはならない道なのです。やがて、言葉での表現力、見通しをもつ力、状況の理解力などが育ってくると、強情っぱりは自然に消滅していきます。